



救助服一式購入

実施設計書

物 品 番 号 警防需第1号

納 入 場 所 兵庫県西脇市野村町1796番地の502 (北はりま消防本部)

業 務 概 要 救助服一式の購入

北はりま消防組合

救助服一式購入仕様書

北はりま消防組合（以下「当組合」という。）が購入する救助服一式の仕様は、次のとおりとする。

1 品名・数量

- (1) 救助服（夏用）（上衣） 20着
- (2) 救助服（夏用）（ズボン） 20着

2 条件

- (1) 救助服は、救助隊員が着用する物件であり、救助活動に適するものであること。
- (2) この救助服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書の全てを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

3 納入期限

令和8年12月11日（金）まで

4 納入場所

兵庫県西脇市野村町1796番地の502（北はりま消防本部）

5 仕様

救助服一式は、次の規格及び性能を有する製品又は同等品以上とすること。同等品以上で応札する場合は、必ず質問期間中に仕様を確認できる資料を添付して質問すること。

(1) 型式

ア 上衣

前立てファスナー（衿先ジップアップ）、脇下ベンチレーション、肩章付き、左右胸は両玉縁ファスナー付きポケット、右胸は階級台マジック付き、肘は刺し子付き、袖口はファスナー水かき付き、前後身頃切り替え部・肩部に刺し子加工、裾はシャツ式、左肩にワッペン台座付きとする。

イ ズボン

前立てにファスナー、ベルトループ5本付き、両サイドにファスナー付きアウトポケット、膝・脇・後身・股下部に刺し子加工とする。

(2) 表生地

表生地にあっては、公的機関で行ったJIS規格による各種試験結果を、納品時に提出することとし、東レNX4848R(C/#オレンジ)、難燃ストレッチトロピカル又は同等品以上とすること。

(3) 条件

ア 針数は、30mm間に飾り・刺しともに10針以上とすること。

イ 縫製糸は、コーネックス40番オレンジ、生地と同色とすること。

ウ 縫製の糸調子は、上下ともツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

(4) 縫製要領

ア 上衣

(ア) 衿

裏衿腰部分にステッチを7本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。

表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。

衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。

裏衿側は、突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護のため、ムシを見せないようにして付ける。

(イ) 前身頃

切替え部分に表生地を2枚重ねし、襟より約150mmの位置まで刺し子加工をする。

前立ては、見返しと縫い合わせるとき、ファスナーを付ける。

表面は、突合わせとし、ファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。

袖ぐり・脇切替え部分には、ダブルステッチをかける。

(ウ) 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約140mmの両玉縁ファスナー付きの切りポケットを付ける。

口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。

胸ポケットファスナーは、警笛ヒモ収納等を考慮して閉じて脇側とする。

表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。

両胸ポケット内の脇側にペン差し用ループ(40mm×50mm2本用)を付けること。

(エ) 右胸階級台座

右胸ポケット位置より約10mm上部に階級台座(25mm×40mm)を取り付ける。

左胸に「北はりま消防本部」と紺色で刺繍し、個人名の名札の台座を取り付ける。

詳細なサイズについては、消防本部担当者と協議すること。

(オ) 肩章

幅約55mm、長さ約145mmとする。衿ぐり側は、台形型とする。

肩先側は、二つ折りし、肩先から10mm幅の長方形のステッチの中へクロスステッチをかけ、身頃に縫い止め、衿ぐり側へ35mm離れた所にダブルステッチで身頃に縫い止め、先は釦止めとする。

(カ) 後身頃

後身頃は、肩ヨークと縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせ、ダブルステッチを後身頃側にかける。

衿付位置から袖付下部まで表地を2枚重ねし、刺し子加工をする。

後身頃上部に3段にて、上段「HYOGO」、中段「KITAHARIMA」を斜体、下段「RESCUE」を、消防本部指定色にてプリントする。

(キ) 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール（通気口）を設ける。

脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折りに始末し、ダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折りに始末し、ダブルステッチをかける。

前身頃と前袖を縫い合わせ、脇身頃側にダブルステッチをかける。

後身頃と後袖を縫い合わせ、後身頃及び袖側にダブルステッチをかける。

(ク) 袖・ワッペン台座

肩ヨークの続き袖は、肩の部分に表地2枚重ねし、刺し子加工を施し肩先端はダブルステッチで袖に縫い止める。

ヨーク前側は、前身頃・前袖と縫い合わせるとき、ヨーク側にダブルステッチをかける。

後袖は、肘上部辺りで切替え2枚ハギとし、ダブルステッチをかける。

ヨーク後側は、後身頃・後袖と縫い合わせるとき、ヨーク側にダブルステッチをかける。

腕の長さにより肘の位置が変わるため、標準サイズ±30mmの3種類を設け肘当ての位置を調整すること。

左肩先端位置から80mm下に消防本部指定ワッペン台座を縫い付ける。

(ケ) 肘刺し子

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

(コ) 袖口

後袖の袖口に両玉縁で長さ約170mmのファスナーを付ける。

カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。

ファスナー開き部分の内側（ファスナー下）に表地で水カキを付ける。

水カキは、カフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は、三つ折りに始末しステッチで押さえる。

シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

ファスナーは、ロックタイプとする。

(㊦) 裾

シャツ型とし、三つ折りに始末し、ステッチで押さえる。

(㊧) 片布

片布は、左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

(㊨) 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

(㊩) 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

イ ズボン

(㊪) 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2か所切替え、表地2枚を重ね、刺し子加工をする。

ファスナー下から裾まで切替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

(㊫) 前立て

左上前立てに芯を貼り、約40mm幅と6mm幅の飾りステッチで押さえ、左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン閉止めをする。

見返し奥の裁ち目は、芯とともにオーバーロック始末をする。

右前ファスナー下に、持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目に、ファスナーを挟みコバステッチをかける。

持ち出し布は表裏ともに表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末する。

(㊬) 膝当て

表地2枚を重ね、刺し子加工をし、周囲をダブルステッチで付ける。

身長により膝位置が変わるため、850mmハーフ、950mmハーフの2種類で膝当ての位置を調整すること。

(㊭) 内股

前ファスナーから前切替え線の膝位置までの上部に、刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。

(㊮) 後

後身は、ウエストより裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

後中心ベルトループ下から尻部下部まで、刺し子加工を施した表地を重ね、ダブルステッチで押さえる。

(㊯) ウエスト

ウエスト内側は、マーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約35mm幅のステッチをウエスト一周にかける。

(*) ベルトループ

ベルトループ幅は約90mm、通し幅は約60mmとし、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切替え位置・後切替え位置に4本付け、上端は、約10mm下げて縫い、下側は、ダブルステッチで身頃に縫い止める。

後中心のループ幅は約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ、下端は剣先型とする。

上端は約10mm下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

(/) アウトポケット

左右脇のアウトポケットは、幅190mm、長さ250mm、左右にマチ布を付ける。

ポケット口はファスナー開き170mmの突合せとし、両玉縁の上下端はコバステッチをかける。ただし、ハーネスを付けた際にも使用できるようにポケット口を斜めとし、ファスナーは、閉じて尻側とする。

ポケット付け位置は、上記を考慮し、上端から約240mmの位置に付ける。

(/) 脇

前後身頃の切替え部分、膝上辺りまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

(/) 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

(/) 裾

裾は、シングル・ヘム幅35mmのミシンタタキ仕上げとし、内周に絞り紐を付け、かかとへの引っ掛けゴム付きとする。

(/) 片布

片布は、左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

(/) 警告表示

警告表示を、右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

6 寸法表

救助服上衣サイズ表

(出来上がり寸法 単位：c m)

| 部 位 サイズ | 着 丈 | 胸 囲 | 胴 囲 | 裾 丈 | ネック回り |
|------------|-----|-----|-----|-----|-------|
| S | 73 | 101 | 99 | 79 | 46 |
| M | 75 | 105 | 103 | 81 | 47 |
| L | 77 | 111 | 109 | 84 | 48 |
| L L | 80 | 117 | 115 | 86 | 50 |
| 3 L | 81 | 123 | 121 | 89 | 51 |
| 4 L | 84 | 129 | 127 | 91 | 53 |
| 5 L | 86 | 135 | 133 | 94 | 54 |

救助服ズボンサイズ表

(出来上がり寸法 単位：c m)

| 部 位 サイズ | ウエスト | ヒ ッ プ | わたり幅 | 股 下 |
|------------|------|-------|------|-----|
| S | 75 | 100 | 33 | 79 |
| M | 79 | 104 | 34 | 79 |
| L | 83 | 108 | 36 | 79 |
| L L | 87 | 112 | 37 | 79 |
| 3 L | 91 | 116 | 38 | 79 |
| 4 L | 95 | 120 | 40 | 79 |
| 5 L | 99 | 124 | 41 | 79 |

7 検査及び引渡し

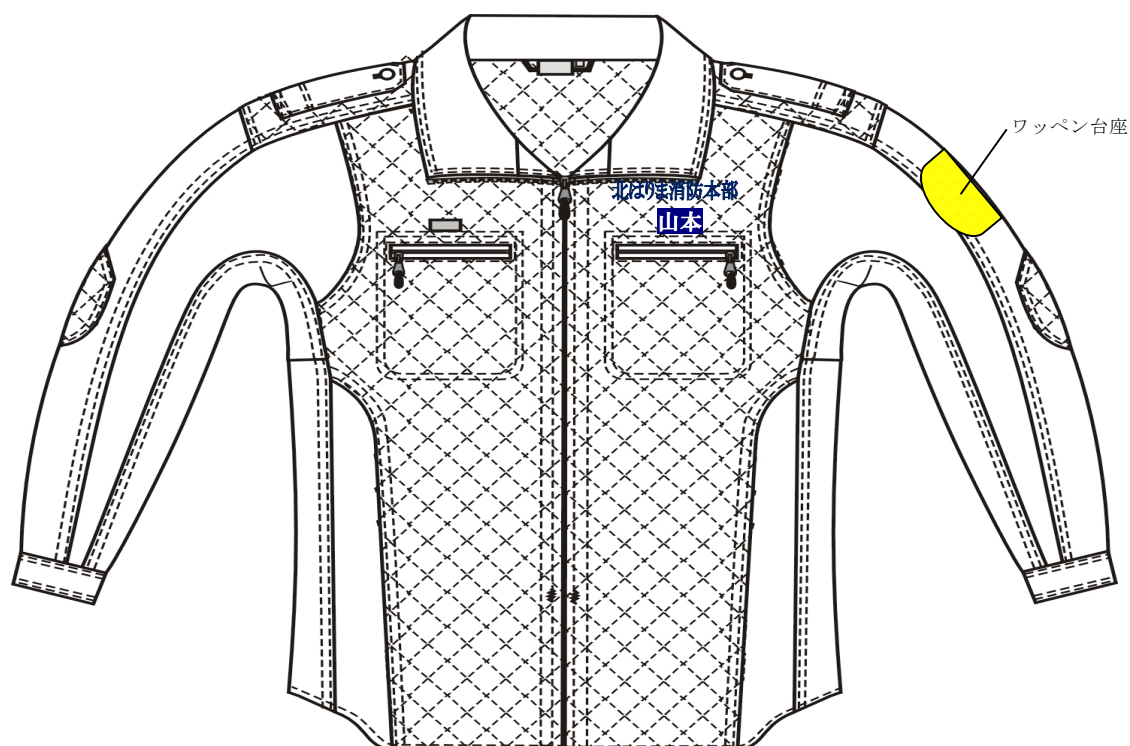
- (1) 本製品は、納入場所において当組合担当者が検査を行い、検査に合格した後引渡しを受ける。
- (2) 検査時において指摘箇所があった場合でも、納入期限までに補修、調整が行えるように、納入は十分余裕日数をもった時期とすること。

8 その他

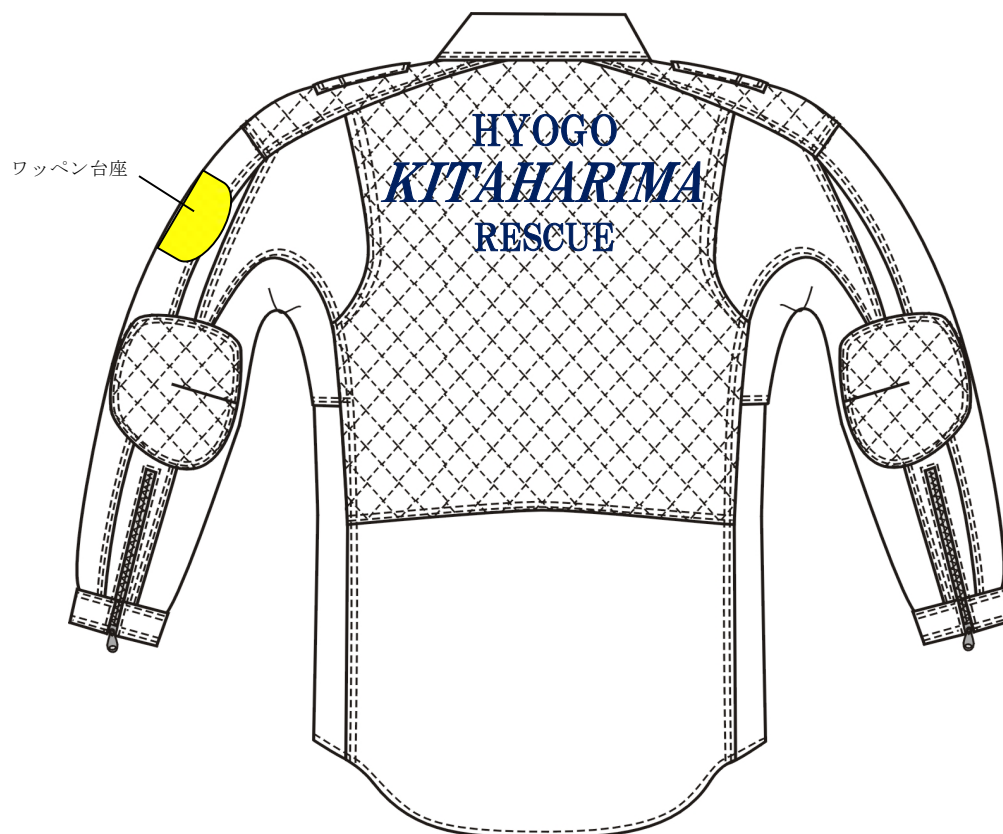
- (1) 初期不良については、納入業者において無償で修理又は取替えを行うこと。

- (2) 納入物品に係る運送費及びその他の経費は、全て契約業者の負担とする。
- (3) 受注業者は、当組合担当者と十分打合せをすること。
- (4) 各サイズの現品見本により、各人の着せ付け採寸を行い、入念にそのサイズを決定すること。ただし、別寸等については、適正な寸法に仕上げるものとする。
- (5) 梱包は、上衣・ズボンを1セットごとに収納した上で、所属ごとの数量（別途指示する。）に仕分けし、段ボール箱に収納すること。
なお、数量・サイズ内訳及び納入場所を箱の外部に明記すること。
- (6) この仕様に疑義が生じた場合、又は記載のない細部事項若しくは軽微な変更については、当組合担当者と協議の上、決定する。

救助服（上衣）【正面】

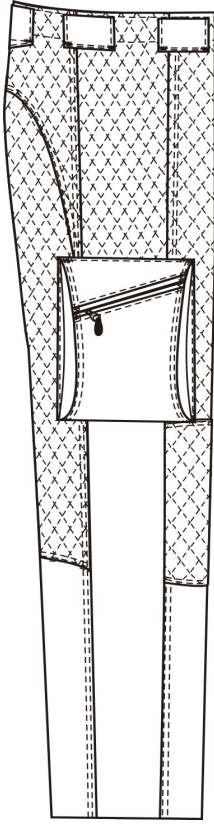


救助服（上衣）【背面】

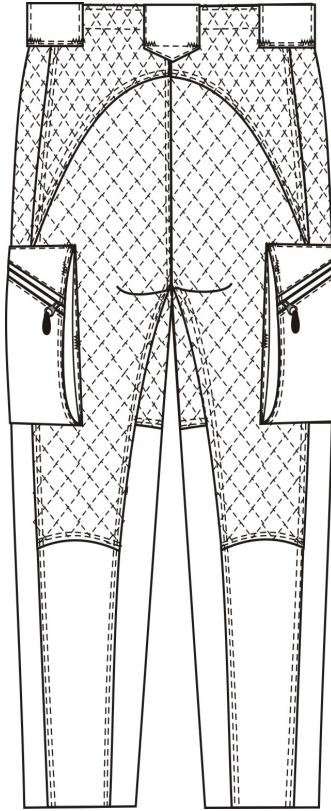


救助服（ズボン）

【側面】



【背面】



【正面】

